

## 漢字文献情報研究センター 開設記念講演会

# 宗教テキストのデジタル アーカイブが切り拓く 新たな地平

### ー「令和大蔵経」編纂から考える、 人文学DXとAI時代の知の未来

龍谷大学 漢字文献情報研究センターの開設を記念し、特別講演会を開催します。講師には、仏教テキストのデジタル化を世界的に牽引してきた下田正弘氏（武蔵野大学教授、東京大学名誉教授）をお招きします。

下田先生は、大蔵経の全文データベース「大正新脩大蔵経テキストデータベース」の構築をはじめ、人文学とデジタル技術を融合する研究を長年推進されてきました。現在は、科研費 特別推進研究として、「令和大蔵経」の編纂を中心とした大規模な研究プロジェクトを進めています。

本講演では、「令和大蔵経編纂の概要と意義について」をテーマに、AIやデジタルアーカイブ技術が人文学研究をどのように変えていくのか、そして宗教テキスト研究が切り拓く新たな知の可能性についてお話しいたします。

仏教学や人文学に関心のある方はもちろん、デジタル・ヒューマニティーズやアーカイブ研究に関心のある方々の参加を広く歓迎します。

#### 実施概要

日時：2026年5月23日（土）16:00-17:30

（講演約60分、座談会・質疑応答約30分）

会場：龍谷大学 大宮キャンパス 本館2階講堂（重文）

参加：無料・事前申込制（定員：150名）

講師：下田正弘氏（武蔵野大学教授、東京大学名誉教授）

司会：道元徹心（龍谷大学文学部教授）

ファシリテーター：阿部泰郎（龍谷大学研究フェロー）

共催：龍谷大学 漢字文献情報研究センター | 科研費 基盤研究（A）  
「グローバル宗教遺産学術アーカイブ国際連携創成による相互理解  
知の共有」（26H01894）

#### 講師・下田正弘氏プロフィール：

1981年、東京大学文学部印度哲学専修課程修了。博士（文学）。  
東京大学大学院人文社会系研究科教授などを経て、現在は武蔵野  
大学教授、東京大学名誉教授。

1994年より「SAT大蔵経テキストデータベース」事業を推進し、  
仏教テキストのデジタル化研究を世界的に牽引。現在は科研費 特別  
推進研究「デジタル研究基盤としての令和大蔵経の編纂一次世代人  
文学の研究基盤構築モデルの提示」（25H00001）の研究代表を務  
める。また、日本デジタル・ヒューマニティーズ学会理事長、日本  
印度学仏教学会理事長などを歴任。タイ国議会・仏教功労賞最高賞、  
中村元東方学術賞、毎日出版文化賞など多数受賞。

問い合わせ ※参加の申し込みは右記QRより

龍谷大学 漢字文献情報研究センター

TEL：075-645-2154

Email：[kanji@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:kanji@ad.ryukoku.ac.jp)

